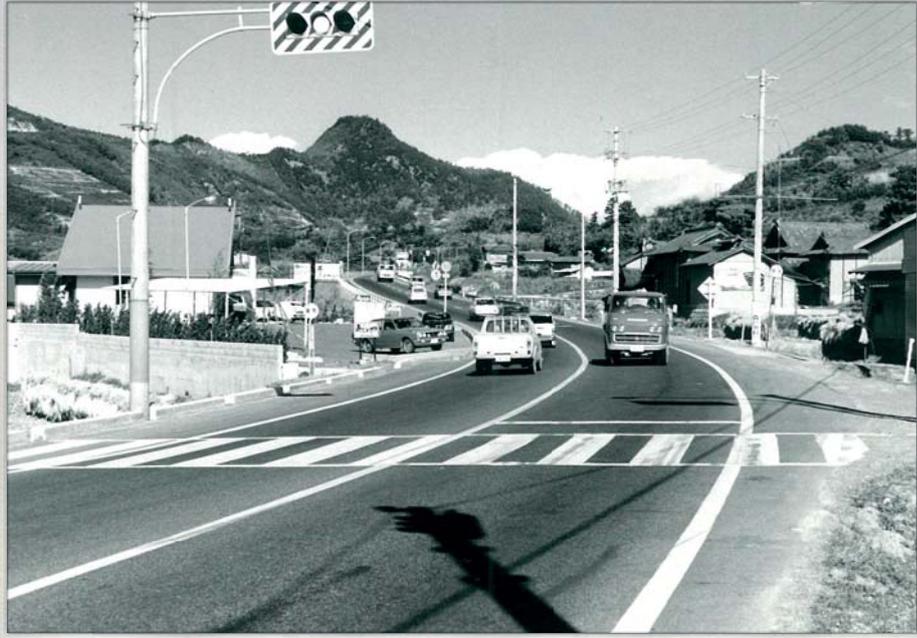




蘇る一瞬 みとよ写真帳 page 64

このコーナーは、文書館に保存している古い写真を皆さんに紹介します。



懐かしの1枚

国道11号線 大見道免附近
昭和50(1975)年頃 三野町

この付近の国道11号線は、昭和37(1962)年に完成している。完成当初は自動車の通行量も少なく必要以上に広い道路との批判があったが、10年もたたない昭和45(1970)年頃からは丸亀・坂出などの市街地では交通渋滞が起こるほど、通行量が増加した。

※文書館では、まちの風景や催事などの古い写真を収集しています。原本はお返ししますので、情報の提供をお願いします。【文書館 ☎63・1010】

「思い出の1ページ」

「懐かしい写真ですね。信号機奥の三角屋根の建物があぶらやの喫茶店、その向かいの建物が昔住んでいた母屋です」と、写真を指差しながら話すのは、現在も近くで映像製作会社を営む亀山茂雄さん(67)。

「以前の国道は砂利道で、ボンネットバスが通るのもやっとの道幅でした。周囲一帯が田んぼで、住宅もまばらでしたね。国道が完成すると、道沿いに家や店舗が建ち始めました。

中学1年生のとき、買ってもらったばかりの自転車に乗って友人と二人で、高瀬に向かって走ったことがあります。特に目的もなく向かったのですが、三野町から高瀬町に入ったあたりから、レストランやガソリンスタンドなどの新しい建物が次々と目に飛び込んできて、ワクワクしながら走ったのをよく覚えています。そのときは結局、高瀬の六ツ松辺りに差し掛かったところで、急に心細くなつて引き返したんですよ」と、子ども時代を懐かしみながら笑顔で話す亀山さん。

また、カメラが趣味という亀山さんは、自身が撮った写真を見せてくれました。

「昭和45年頃の大雪のとき、自宅の窓から国道11号線を高瀬方面に向かって撮影しました。



▲昭和45年頃の道免。遠くに爺神山が見える

道がカーブしているところに、後で喫茶店ができました。奥の山が爺神山。採石される前はきれいな形をしていましたよ。この後、国道沿線がすごい勢いで発展していったね。爺神山の形が変わってしまったのは少し残念かな」と、刻々と変化する風景に寂しさをにじませながら、当時を振り返ってくれました。



編集 後記

今月の表紙は先日旗揚げ公演を行ったマリンウェーブ劇団です。舞台では、団員一人一人が役になりきり、演じている姿がかっこいい! 「演劇は責任を持って一つの言葉を発するもの」と言う団員の言葉を実感しました。

三豊市の人口

※平成30年3月1日現在 ()内は前月比
世帯数 22,975 世帯(-41) 総人口 63,778 人(-117) 男 30,548 人(-69) 女 33,230 人(-48)
※香川県人口移動調査による